よろしい
貴女たちの入学を許可します
これから一緒に魔砲少女を目指して頑張りましょう
魔砲少女
シエスタ
第3話
漫画COMIC／まゃ～吾郎

きゃあっ
バタン
ちょっと…いきなり転ばないでよね
だってぇ…こんな靴今まで履いたことなかったし…
しっかりして
今日からあたしたち魔砲少女なんだからね
コーホセイだよお姉ちゃん
でも…本当になれるかな…
魔砲少女に…
あんな魔物を相手に…
……本当に…
平気よ
もう誰もいなくならない
皆もシエスタもあたしが絶対に守るわ

うん…

私も…頑張る

ありがとう…お姉ちゃん

お姉ちゃんを守れるように…

魔砲少女になるね

絶対に何があっても…

二人で…

…一緒に…

……ん…

!?

…たしか

アイツらに捕まって…

シエスタが黒くなって…

それが魔砲少女で…

それから…

お目覚めですか アーネ君

…アンタ!!

なんなのよ
これは…
シエスタは何処(どこ)!!
まぁ
落ち着きなさい
この学院には
魔砲少女になるべく
貴族令嬢から
かたや田舎(いなか)娘まで
各地から
様々な娘が
送られてきます
これは
その中で仕上がった
至高の果実を…
此度(こたび)の計画に
協賛いただいた方々(かたがた)に
振る舞う
秘密の宴ですよ
果実…?

勿論(もちろん)
貴女たちのことですよ

!!

シエスタ!!

魔砲少女の力の源…
すなわち魔力は愛と正義の心で生み出される

中でもひと際(きわ)強い魔力を生み出すのが

心が最も揺れ動く思春期の頃…

来なさいシエスタ

はい…

心身ともに未熟な少女に性交は劇薬です

快楽の濁流に呑まれ性愛と恋愛の境界が曖昧になり

アンタまた…ッ!!

惚れた私男のために無限の強さを発揮する愛の奴隷となる

ス…

!!

シエスタ…どうして…ッ

ごめんね…お姉ちゃん…

先生が怪我したらいけないから…

ズズ…

これが魔砲少女です

そして彼女たちの魅力は強さだけではありません

スリ

瑞々(みずみず)しい身体
あどけない表情
ス…
むにむに
ほんのり赤い花弁
シエスタもなれて喜んでますよ
魔砲少女果実に
スリスリ
これを至高の果実と言わずしてなんと言いましょう
そんなわけないでしょ!!

あのね…お姉ちゃん…

私ね…お姉ちゃんと一緒に魔砲少女になるために先生に秘密の特訓をお願いしたの…

ごめんね…

ちゃんと言い出せなくて…ごめんね…

反対されると思ったから…

お姉ちゃんに…置いてかれたくなかったからぁ…

シエスタ…

おかげで私は強くなれたの…

お姉ちゃんにないしょでこんな風に…

いっぱい特訓…してもらったの…

先生にいっぱい触ってもらったの

おっぱいも…おまたも…

私の恥ずかしいところ…全部…

最初はきもちわるいって…こんなことやめてって思った…

けど…お

頭がふわふわしてきて…
触れたところがあつくなって…っ
もっとしてほしくなっちゃったのっ♥
カラダから魔力が溢れてきてぇ♥
それで…ぇ
おまたのなかを…っ
指でいっぱいグリグリってしてもらったら…
すごく――

すっごく♥
ビクッ
きもちいいのお♥♥
ビクッ
あっ♥
あっ♥
キュウウウ
せんせえ
そこお♥
ゾクッ
おっ♥
ゾクッ
おお…おふ♥
この子は本当に
優秀でしてね…
幼気(いたいけ)で愛らしく
優しく健気(けなげ)で——

私の特訓(調教)も儀式(セックス)も難なく受け入れ

男を悦(よろこ)ばせる私好みの魔砲少女になりました

アンタ…なんてことを…ッ

彼女が望んだことですよ

候補生は愛と正義の心を育(はぐ)んで卒業試験に合格しなければならない

さもなくば儀式の際に望ましくない結果になりますので…

本来なら貴女にもじっくり特訓を受けてもらうつもりでした…

ですが計画を大分前倒しにしなくては

秘密を知られた以上直ちに貴女への儀式を執り行います

儀式って…

まさか…あたしにも同じことをするつもり!?

よかった…お姉ちゃん
これで一緒に魔砲少女になれるね
目を覚ましてシエスタ!!
あたしたちがなりたかったのはそんなのじゃないッ
無事に儀式を完了したければ素直に従うことです
私としても貴女を失うのは惜しいのですよ
あたしに近づくなあっ!!

まったく…本当に貴女という人は…
シエスタ
はい…
貴女が頼りですアーネ君を特訓してあげなさい
はい♥

シエスタ…
大人しくしててねお姉ちゃん
安心してなんにもこわいことなんてないから…
私がいっぱい…きもちよくしてあげるね♥

だめ…

シエスタ…ぁ

スル。

お姉ちゃんにも教えてあげるね？

女の子のきもちいいところ…

そんなのいらないっ!!

最初はこうやってね？

ビクッ

さわ

さわ

おっぱいを優しく触られて…

先っぽを手のひらでこねられて…

スリ

スリ

そしたらムズムズしてきてもっと…撫でてほしいって…

ん…

むに

ん…っ

むに

撫でられたところが段々とかたくなってきて…

くに

くに

先っぽをきゅってしてほしいって…思っちゃうの♥

ぺろっ

ん…っ

やめ…っシエスタ…

あっ

んんっ

びくっ

びくっ

あ…っ!?
だめっ
まって…っ
ドクッ
かぁぁっ
見えるっ!!
アイツに
パンツ…っ
見られちゃうっ!!
……
かわいい♥
お姉ちゃん
な…
なんで…?
んあああっ!?
きゅうう

先生に…

ここにいる皆に…

だ…めっ

バタ

お姉ちゃんのかわいいところいっぱい見てもらお？

んあっ

見るなっ

見るなあっ

バタ

お姉ちゃん…

…？

んん…っ!?

んっ

くちゅ

んっ
ちゅ ちゅ
んう…
ちゅっ
…はあっ
あ…っ
シエス――
んんんっ
くちゅ
んっ
くちゅ
くちゅ
んっ
ひくっ
んうっ
ひくっ
んあ…
おねえちゃん…
はー――
はー――

知ってる？お姉ちゃん…

おまたのぷくっとしてるここ…

…？

はっ

はっ

ここのまんなかをこするとね？

ぴくっ

すっごく…きもちいいんだよ？

ふあっ!?

ぬれてる…♥

ぴくっ

スリ

キス…よかったんだ♥

うれしい…お姉ちゃん…

あ…

や…あ

シエスタまって…まってぇ…

メル。

もっと…してあげるね♥

…あっ
あっ
なに…？
くにくに
これっ
あっ
びくんっ
どう？お姉ちゃん…
なにこれえっ
くにゃ
おまたこすこす…すごいでしょ？
シエスタ…だめ…っ
これ…だめ…ぇ♥
あっ♥
我慢しないでお姉ちゃん
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
びくっ
いっぱいきもちよくなってほしいの♥
びくっ
あっ♥
やああっ♥

なに…これ…

んっ♡

からだが…
…あつい…

んっ♡

ちゅ♡

くちゅ♡

んんっ♡

びくっ

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

あたま…
…ふわふわ…

ぽー…

わかんなく…
…なる…

はぁっ

んぁ…？

…お姉ちゃんも
…真っ白になって…

あっ♥

くちゅ♡

ああっ♥

おかしく…
なっちゃえっ♥

あっ…♥
びくっ
びくっ
かはっ
びくんっ
あぁあっ♥
ぷぷっ
きゅうう♥

どう…？
お姉ちゃん
特訓…
きもちいいでしょ
？
??
はぁ…
はぁ…
ぷく
ぷく
ぐぐ
ぐぐ
ジワ…
私…
もっと頑張るね♥
だ…め…
シエスタ…
やめ…てぇ…

どう？お姉ちゃん…
身体中から魔力が溢れて…すごいでしょ？
……守らなきゃ…
ぴくっ
はぁ
はぁ
ぴくっ
絶対に…シエスタを…
それでね…いちばんすごかったのは…
アイツを倒して…
先生の…逞しいおちんちんがおまたの奥をかきまわして…
先生にご奉仕して悦んでもらって…
シエスタを助けて…
ぴくっ
スリ
はぁ
はぁ
私できもちよくなってくれた証を…
トロ…
いっぱい…注いでもらうことなの♥
ちゅっ

ここから逃げて…

んっ♥

くぽっ

んんっ♥

くぽっ

くぽっ

あむ…♥

んっ♥

はぁっ♥

おねえちゃん…

それから――

くに

くに

くに

お姉ちゃんも…もっときもちよくなりたいよね？

あれ…？

ぼ――…

なん…で…

ぐく

はっ

はっ

モゾ…

ぐく

手が…

くちゅ♥

くちゅ♥

か…かってに…っ

安心して…

魔砲少女(わたしたち)も皆…

そうなっちゃうから…♥

だからお姉ちゃんもはやく…

先生の大きな手で…

舌で

……

おちんちんで♥

はぁ

はぁ

いっぱい♥いーっぱい♥

きもちよくなろ?♥

ぱ♡

ひくひく

トロォ♥

ん…あっ♥
あっ♥
き…たあ♥
ふか…いっ♥
せんせえ…♥
そんなだらしない顔して…
お…♥
おお…♥
お…っほ♥
アーネ君が呆れますよ？
だって…ぇ♥
おねえちゃんにせんせぇのこと
こわくないって知ってほしいからぁ♥
あっ♥
あっ♥
あんっ♥
本当にそれだけですか？
どうして…
それ…は…
目が離せない…

ごめんらさい♥

ほんとうは がまんできなかったんです♥

びくっ

びくっ

はやくせんせえのおちんちんっ欲しかったんです♥

だから抜かないでください♥

はっ

はっ

はっ

あっ

あっ

ズプ

ズプ

ズプ

ズプ

きゅん♥

きゅん♥

すごく…

せんせえ…すき…♥

トロン…

はぁ

はぁ

すきです♥

すごくきもちよさそう…

シエスタにいっぱい
ご奉仕させてください♥
シエスタでいっぱい
きもちよくなって
ください♥
シエスタにいっぱい
射精してくださいっ♥
せんせえ
おねがいい♥♥
よく言えました
ご褒美です
たっぷりと…
膣奥で
受け止めなさい
あ…♥

んあああぁっ♥

きもちいいですっ せんせえぇ♥

私がご奉仕しなきゃ いけないのに…い♥

ありがとう ございます♥

ありがとう ございます♥

ありがとう ございます♥

だ…め

あっ♥

とまってぇ

ありがー

びくっ
かはっ
ふあああああっ
びくっびくっ
ぞくぞく
はぁっ
はっ
はぁっ
ぎゅううう
ゴポッ
ビクビクッ
ビクッ
プシッ

あ…ふ♥
ゴポ…
ドロ…
さて…
準備も整ったようですね
貴女のおかげですシエスタ
ドサ…
それでは最後の儀式を行いましょう…
は…い…
せんせぇ…
ドキ
…どうぞ♥
私たちをご賞味ください♥
ドキ
トロ…
To be continued